

## 日進地区 地域づくり懇談会 議事録

1 日 時 平成29年6月30日（金） 19:00～19:50

2 会 場 日進地区公民館

3 出席者 地元出席者 17名

市側出席者 14名

深澤市長、羽場副市長、河井総務部長、田中中核市推進局長、乾防災調整監、田中企画推進部長、久野地域振興局長、西尾都市整備部次長、渡邊秘書課長<事務局>福島協働推進課長（司会）、宮崎協働推進課課長補佐、酒本協働推進課主任、有本協働推進課主事、北村協働推進課主事

### 4 市政の課題等についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

私が住んでいる吉方温泉二丁目は大火にも遭わず古い住宅が多いのですが、子ども達は巣立ったまま帰ってこないため、空き家になっている家屋が多くあります。以前、市の調査がありアンケートも提出しましたが、古くて壊れそうな家もあります。中には、市建築指導課が所有者に連絡してくれて更地になった所もありますが、所有者が県外に転出して、市が通知を出しても全く返答がない家もあるようです。

先日、市役所で「鳥取市空家等の適切な管理に関する条例」を見せてもらいましたが、本人の承諾がなければ家屋の強制撤去ができないようです。この制度を何とか改善できないか検討してください。

（都市整備部次長）

建築指導課では空き家の所有者を調査しますが、なかなか調べきれていないのが状況です。所有者が判明した場合は指導文書を送付し、改善なり解体なりを依頼します。

強制執行については、現時点では難しい部分があるのではないかと考えています。公費の投入等の問題もありますので、今後十分検討していく必要があるのではないかと思います。

（担当課補足：建築指導課）

空き家であっても個人財産であり、個人の責任で管理等するのが原則と考えています。このため、危険空き家は所有者等を調査のうえ適切な管理をしていただくように毎年指導を行っているところです。

その中で、保安上危険な空き家で法令に基づく指導、勧告、命令と言う段階を踏んでも対応していただけない危険空き家で、不特定多数の市民に影響が大きいと判断される場合（公道等への影響がある場合）は、外部委員を中心に構成された空き家対策協議会へ諮り、代執行の可否について検討していくよう考えています。

適切に管理されているケースとそうでないケースとの不公平感が生じないように、引き続き、解決に向け丁寧な助言、指導等を行ってまいります。

(地元意見)

先ほど、地域づくり懇談会が始まる前に質問の要旨を渡していますが、鳥取幼稚園前の市道に設置されている歩道は、幅150cmで高さが20cmあります。最近になって再整備された歩道ですが、現代のバリアフリーを真逆でいくような非常に段差の高い歩道です。非常に通りにくいし、鳥取幼稚園に面した所には歩道から車道に向かって切り下げの設置がしてある所が3か所もあります。勾配は13%ほどあり、転倒しかねません。幼児も通行する道路なので、交通安全の観点からも善処を希望します。

(深澤市長)

いただいた文書については、私もざっと一通り拝見しました。

十分な回答にならないかもしれませんが、本来であれば、もう少し段差が少なくあるべきだとのご意見だと思います。現在、市内でバリアフリー点検を行っています。特に5月の福祉週間には障がい者の皆さん等にも参加していただき、重点的に点検を実施しました。

まだまだ十分でないところもありますが、担当課により今一度現地を再確認し、適切に対応したいと思います。

(担当課補足：道路課)

町内会長、要望者と現場確認を実施しました。

幼稚園の地盤が高く、歩道を下げると幼稚園との境界に段差が生じるため、幼稚園の協力が得られないと歩道を下げるのは困難である旨を説明し、理解を得ました。

切り下げ箇所の縦断勾配については、多少は改善可能であるため、地元の要望があれば縦断勾配だけでも改良することは可能ですので、地元で協議いただきますようお願いいたします。

(地元意見)

私が住んでいる吉方町内会は220以上の世帯がありますが、町内会に加入しているのは65世帯程度です。

私は吉方町内会長を長く務めています。何とか町内に集まる場所ができないかと思い、初めに土地がないかと考えましたが、吉方は土地が高く、まずは金を貯めようという話になりました。何年か貯めましたが、町内会加入世帯も少ないため、あまり貯まりませんでした。次に、空き家になっている民家を見つけ、所有者に頼んで借り始めて2年ほどになります。かなり安い金額で貸してもらっていますが、それでも65世帯ほどで負担しているので大変です。

鳥取市から、家賃の2/3の補助を受けていますが、下限を見直してもらえないでしょうか。補助率を上げると市の負担が大きくなって大変だと思うので、少しでも限度を調整してもらえないかと思います。

(深澤市長)

状況はよく分かりました。今後、人口減少や少子高齢化が進んでいくと推測される中で、

地域の集会所は非常に大切な機能、役割を果たしていく施設だと認識しています。現在は上限を設定し、新築の際などに助成しています。補助率の下限見直しについて、現時点で良い回答をさせていただくことはできないと思いますが、しっかり受け止めさせていただき、今後充実を図っていかねばならないということで、検討したいと思います。

(地域振興局長)

制度の紹介だけさせていただきます。集会所新築等は1/3の補助率で、上限は1,000万円です。これは冷暖房の設置なども対象です。家賃補助は補助率1/3で、上限は月額15,000円で、10年間で累計180万円を補助する制度です。

(地元意見)

昨年7月に久松閣跡地に免許センターがオープンしましたが、それに付随して県道が整備されました。この整備では、免許センターから鳥取市文化センター前までの歩道と車道が整備され、信号も設置されましたが、その際、街路樹として植えられていたヤマモモを再利用したいとのことで、県が全て掘って別の場所に移しました。そして、今年のオープン前に植え直し、今では18本のヤマモモが植えられています。しかし、その中で葉っぱが生えているのはわずか3本で、残りの木は枯れたままのような状況が続いています。3月頃には県の担当課にも話しましたが、状況を見るのももう少し待つてほしいと言われ、その後も改善しそうにありません。

文化センター辺りから鳥取駅側には従来から植えられているヤマモモがあり、葉っぱもよく茂っていますが、反対側は枯れ木のようになっていて見た目もあまり良くありません。市からも県に対して撤去なり、あるいは新しい何らかの街路樹を植えるなどの対応を要望してほしいです。

(深澤市長)

分かりました。県の「状況を見るから、もう少し待つてほしい」との回答が、葉っぱが出てくるのを待つというだけのことだったのか、どういった意味合いだったのか分かりませんが、いずれにしても本日のご要望は県にお伝えしたいと思います。

(担当課補足：都市企画課)

このことについて、鳥取県土整備事務所へお伝えしたところ下記のとおり回答がありましたのでお知らせします。

【県回答】

当該植栽を調査したところ、再移植したヤマモモ全てについて弱っている或いは枯れていることが確認されたため、同樹種にて秋頃に全て植替える予定としています。

(地元意見)

県立美術館の建設に関する市の対応について質問します。

県立美術館の建設地は倉吉市に決定しましたが、私は個人的には妥当ではないかと思っています。県西部には米子市に米子市美術館が、県中部には少し狭いですが倉吉市に倉吉

博物館が、そして東部には県立博物館があり、県展や市展などは今までもそこで開催してきました。だから、大きな美術展などは今後も県立博物館で開催できると思っていたところですが。

いつ頃の新聞記事だったか記憶が定かではありませんが、鳥取市では、市民美術展の会場として毎年県立博物館を予約していたのに、県立美術館の建設予定地が倉吉市に決定したことを受けて予約をキャンセルし、開催時期を延ばすことになったと書いてありました。

何故、倉吉市に県立美術館の建設が決まったからと言って県立博物館の予約をキャンセルするという態度をとったのでしょうか。何だか大人気ないと思ったりしています。

来年の中核市移行に向け、県と市はこれから今まで以上に連携し関係を深めていかなければいけないと思います。おそらく、感情的なものは県も持ってはいないと思いますが、このようなことが今後影響するとすれば、考えてほしいと思います。

また、鳥取市立美術館などは簡単に造れるものではありませんが、小さい美術展を開催するのであれば、やまびこ館がよいのではないかと思います。児童生徒に特化したような教育、発表の場を作ってあげてはどうかと、ふと思いつきました。

(深澤市長)

市民美術展は非常に歴史のある美術展で、以前は福祉文化会館で開催されていました。鳥取市が開催時期を決め、そこにいろいろな作品を出展していただくことで開催できていましたが、福祉文化会館が手狭になって開催が難しくなり、現在では県立博物館に時期を指定していただいて、開催をお願いしています。ところがここ数年、県立博物館の方が、なかなか時期が定まらないことが続いており、ある年は6月に開催し、またある年は年明けの2月に開催するなど、創作活動をしておられる方からすると、予定を立てて計画的に作品の制作に取り組むことができないという課題がありました。そのため、定まった時期に開催できるよう改善してほしいとの要望を従来からいただいております。今回、あえて県立博物館を会場とせず、鳥取市が有する施設で開催していただくという方向性になった経緯があります。決して、県立美術館の建設の問題とリンクしているのではないことを、まずはご理解いただきたいと思います。

いずれにしても、私は、鳥取県東部は文化芸術活動が非常に盛んな土地柄であると認識しており、発表の場や創作の場となる文化施設や拠点等は必要ではないかと従来から思っているところです。そういった中、残念ながら倉吉市に県立美術館をという方向性が出されていますが、経緯を改めて辿ってみると、当初は鳥取市桂見にあった「鳥取県立少年自然の家」跡地を候補地として決め、事業が具体的に進んでいたところ、片山喜博元鳥取県知事の時代に凍結になり、その後進展しない状況が続きました。その当時から、鳥取市は県立美術館を是非とも鳥取市に建設してほしいと要望し続けてきたところです。

さまざまな経緯や議論があり、現在は倉吉市に建設する方向になっていますが、交通アクセスや立地条件、集客力などを客観的に見ても、いろいろな面で鳥取市に優位性があると思っています。ただ、これは鳥取県が決めることですので、いずれにしても、文化芸術活動に取り組んでおられる鳥取市の皆様が発表できるような場の確保、そしてそういった環境づくりに今後もしっかり努めていくことが、まず肝要ではないかと思っています。

(地元意見)

鳥取中央郵便局の前にある高架下記念公園は、石破知事の座像があり、後ろにこんもりした丘のある公園ですが、この丘が構造上とても高く、さらに森みたいになっていて、外から覗いても中が見えないという大変怖い公園です。そして、私もたまに行ってみますが、誰もいません。

鳥取駅前、再整備によりケヤキの森を低くきれいに整備して、今とても良い状態になっています。高架下記念公園もせっかく立地が良いのだから、丘を切り下げて弥生公園や駅前のケヤキの森のように再整備し、「誰も利用しないような怖い所」から、「休憩時間にオフィス街の人達がふらっと行って休憩したくなるような公園」にしてほしいと思います。

(深澤市長)

ご意見ありがとうございます。確かに現在は木が生い茂っており、公園として活用していただきにくい状況はあろうかと思いますが、再整備ということになると現時点で具体的な計画は持っていません。ケヤキ広場の例も挙げていただきましたが、このようにご意見をいただきましたので、検討課題ということで受け止めさせていただきたいと思います。

(地元意見)

この辺りでは日進小学校や弥生公園などが避難場所になっていますが、これはあくまでも地震や火災の時です。水害の時はそれぞれどこに避難すればよいのか、市の見解を教えてください。

水害は発生しないから大丈夫だと言うのであればよいのですが、もしも水害が発生する恐れがあるのなら、市として避難場所をどうするのでしょうか。各町内や地区で勝手に探せと言うのか、それとも市が率先して避難場所を決めるのか、あるいは市が交渉してくれるのかなど、見解を教えてください。

(防災調整監)

6月初旬に、皆様のお宅に「総合防災マップ」をお届けしています。このマップには、それぞれの避難所について、どういった災害の時に避難できるか印がついています。

日進地区内で避難所になっている日進小学校や日進地区公民館、教育センターなどは洪水の欄が「×」になっており、洪水に対しては適用性がないということです。

昨年、国土交通省が、千年に一度の割合で起きるような千代川の氾濫を想定した浸水想定区域を発表しました。その発表によると、日進地区は水没エリアになるとされているため、長く滞在できる「指定避難所」には指定できないということになります。また、緊急時に身を寄せる「指定緊急避難場所」についても、洪水発生時には適用性がないことになっています。

ただ、洪水は警報や気象警報が出るなどあらかじめ想定できるため、早めの避難を呼びかけます。総合防災マップ等で、浸水エリアではない避難所を日頃から確認していただき、避難を呼びかけた時には、早めに避難していただくのが一番よいと考えています。

なお、日進地区は千年に一度の洪水では浸水する想定ですが、100年に一度の洪水では浸水しないエリアにはなっています。千年に一度の洪水というのは、2日間で約510

mm程度の降雨量、100年に一度の洪水は2日間で約330mmの降雨量です。

災害の状況に応じた避難所を、日頃から確認しておいていただくとよいと考えています。

(地元意見)

吉方温泉二丁目にある一本橋から新橋の間に梅翁院という寺があります。梅翁院から一本橋までは河川敷になっており、私の町内会では、毎年のように河川敷の歩道整備に関する要望書を出して実現しています。

この河川敷には、住宅街に面して側溝があります。この側溝を埋めてもらおうと要望を出しましたが、県から、「そもそも河川敷に側溝は作らないものなので、この側溝がどのような理由で作られたのか分からず、対応のしようがない」といった回答がきています。毎年道路課などとも話はしていますが、この側溝を埋めてもらうよう、市から県に要望してほしいです。

また、この河川敷に張られているフェンスが金網製なので、今後、腐って倒れることも考えられます。時々要望して修繕はしてもらっていますが、河川敷の金網は今ではほとんどなく、寺町の河川敷のように木の手摺りに換わってきているので、同じようにしてほしいです。

併せて、日進小学校の裏の河川敷についても、雑草が生えて吉方温泉一丁目の方々が一斉清掃の時に草刈りをされているので、できれば舗装してほしいし、ここについても金網フェンスを木製手摺りに換えてもらえればありがたいです。是非、県に要望してください。

(深澤市長)

地区要望でまとめていただければ、国の所管であろうと県の所管であろうと市でお受けし、関係先に要望しています。ご要望の件は県事業になりますので、改めて地区要望でご提出いただければ対応したいと思いますので、よろしくお願いします。

(地元意見)

吉方町では、毎年、町内会未加入世帯にも協力してもらい、一斉清掃を実施しています。今年は土嚢を100枚もらっていましたが、足りなくなって100枚追加購入し、結局200枚の土嚢を使いました。

吉方町は今、田んぼが少なくなりました。以前は、水路の深い所は田んぼの所有者が泥上げをされていましたが、今はされていません。それと、浅い部分にも泥が溜まっています。今年ではできることはしようということで、サーパス吉方の周辺の溝についても、重い蓋を全て開けて泥上げをしましたが、蓋を開けることに大変な労力がかかったので、市で対応してもらえないでしょうか。

その辺りは水が浸かります。一度、市が調査すると言って測量もしましたが、報告がありません。上手から吉方の町内を調査したようでしたが、どうだったのでしょうか。今年は少し雨が少ないとは思いますが、雨が降ると株式会社大有工社の所には水がたくさん溜まって、サーパス吉方の所まで浸かり、さらに向こうの吉方南公園の手前まで浸かるのです。

側溝蓋を上げて、今溜まっている泥を取ってほしいというのは町内皆の願いです。我々

もできることはしていますが、これ以上できませんのでお願いします。状況は見てもらえば分かります。

(深澤市長)

泥上げをということでしょうか。地図を拝見しておよその場所の検討はつきましたので、担当課が現地を確認し、適切に対応していくことになると思います。併せて、測量の関係も含め、その後の経緯についても説明する必要があると思いますが、まずは現地を確認したいと思います。

(担当課補足：道路課)

町内会長と現地立会を行い、側溝の泥上げについては、暗渠化された部分は市が行い、その他の部分については地元で行っていただくことを確認しました。

(担当課補足：下水道建設課)

測量については、浸水対策のため工事を実施するためのもので、今年度より概ね3年間を予定しています。今年の秋以降に工事を予定しており、前もって町内会長に説明することになっています。

## 5 市長あいさつ

非常に短い時間ではありましたが、多岐にわたりご意見ご質問をいただいたことに、まずもって心から感謝申し上げます。現地確認等が必要な箇所も何か所かありましたので、早速担当課から連絡させていただき、まずは状況を確認したいと思っています。

本日、時間的にも発言していただけなかった方もあるかと思います。本日の地域づくり懇談会以外でもご意見等をお寄せいただければ、大変ありがたいと思います。

本日は今年度第1回目の地域づくり懇談会でしたが、本当に多くのご意見をいただきました。重ねて感謝申し上げます、お礼のご挨拶に代えさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。